

# 令和5年度 学校評価について

学校評価や授業評価のアンケート結果などを参考に、令和5年度の教育活動について振り返りをしました。学校評議員からも御意見をいただき、今後の教育活動の重点と改善策についてまとめましたので御報告いたします。

## 1 本年度の重点目標

1 「令和の日本型教育」の推進 2 閉校に向けて残された2年間を、生徒自身が意義と喜びを十分に実感し、この歴史と伝統ある大河原商業高等学校の最後の卒業生として、誇りを持って社会に出られるように、全力で支援する。 ①確かな学力の保障と発展 ②言語活動の充実 ③自主性のある生徒の育成 ④部活動の充実 ⑤進路指導の発展を見据えた指導 ⑥防災教育と健康・安全指導の充実 ⑦心のケアの充実 ⑧開かれた学校づくり
---

## 2 自己評価結果に対する学校関係者評価

A 達成している B おおよそ達成している C あまり達成していない D 達成していない

評価分野	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		自己評価結果	改善の方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
学習指導	① 確かな学力の保障	A	個別最適な授業改善を推進し、学習姿勢向上の指導を充実させる。	A	A
	② ICTを有効活用した学習指導	B	校内研修等を充実させ、教員（非常勤を含む）のICT活用力を高める。	A	B
	③ 言語活動の充実	B	将来の目標や身近なテーマをもとにした探究型学習を展開し、発表に取り組みさせる。	A	B
学校関係者評価委員会における意見	様々な生徒への対応が大変だと思うが、基礎学力を身につけるため、今後も緻密な指導を継続してほしい。学力向上に向けた努力が十分になされたと思う。ICTの充実を図ることは不可欠である。				
生徒指導	① 自主性のある生徒の育成	A	生徒会活動の意義を意識させ、行事に主体的に取り組みさせる。	A	A
	② 部活動の充実	A	教員も積極的に指導を行い、よりよい人間関係作りの場を目指す。	A	A
	③ 心のケアの充実	B	教育相談等による発見課題に対して適切な支援態勢を整える。	A	B
学校関係者評価委員会における意見	部活動に限らず、人間関係作りの場を設定し、社会に出たときに相手の立場を考えられる力を身に付けさせてほしい。他校との交流の結果、少ない人数での各部の活躍が素晴らしい。相談支援体制の更なる充実を。				
進路指導	① キャリア教育の推進	A	進路行事の目的をより明確化し、企画と準備を入念に行う。	A	A
	② 進路目標の早期設定	B	関係機関と連携しながら、きめ細かい指導をしていく。	A	B
	③ 向率達進上の成路	A	企業研究、履歴書・面接等の対策指導を早期から継続して行う。	A	A
学校関係者評価委員会における意見	計画に沿って、今後も実践していただきたい。インターンシップやハローワーク職員との接触は良かったと思う。広く関係機関との連携をとることは大切。				
安全指導とその他教育	① 防災教育と健康・安全指導	A	実践的な避難訓練と科学的知見に基づく対策・指導を継続する。	A	A
	② 開かれた学校づくり	A	学校通信やHPを有効活用するとともに、ボランティア活動も充実させる。	A	A
	③ スクールポリシーに基づく教育活動	B	人間関係作り・学習意欲向上に向けて多面的な取り組みを行う。	A	B
学校関係者評価委員会における意見	今の若者には人間関係作りが大事である。計画に終わらずに実践指導で実績を上げてほしい。幅広い対応策を実行されていると感じた。適切に実施している。				

## 3 次年度の課題と改善方策

次年度の課題	改善方策
① 基礎学力を保障する学習指導と学習支援の個別最適化	通級指導や合理的配慮の手立てなど、これまでの指導を参考にし、また、職員の各種研修の受講などを通し、生徒一人一人に応じた個別最適な学習支援を行っていききたい。
② 生徒の自主性の育成と自律した生活への改善指導	全校生徒が少なくなるが、今後も学校行事や生徒会活動、部活動の充実を図り、生徒の自主自立した生活を確立したい。
③ 進路目標の設定と達成のための探究活動や各種指導の充実	学校評議員からのご意見を参考に、今後もハローワークや進路支援業者との連携を密にし、生徒一人一人の進路目標達成のための支援を強化していきたい。